

## 計画全体の進捗状況について

### 1 重点戦略の状況について

重点戦略は、本市が目指す「環境都市の姿」を実現するために、計画期間内の前期5年（平成28年度～平成32年度）に優先的に取り組むべき施策・事業を基本施策から抽出したものであり、また、ネットワークコンパクトシティや都市の魅力向上など、本市のまちづくりの方向性と連動し、行政の分野を越え「ひと」、「まち」、「しくみ」という3つの視点により分野横断的に体系化した取り組み。

#### 【ひと】市民の暮らしの視点

重点戦略 1	「もったいない」のところで行動する人づくり	<p>【拡】 もったいない運動の趣旨を取り入れた中高生向け出前講座の実施として、内容を充実</p> <p>【拡】 環境学習センター等における環境学習機会の提供として生物多様性に係る新たな講座の実施 など</p>
重点戦略 2	エコで便利なライフスタイルを生み出す行動促進	<p>【新】 「家庭向け低炭素化普及促進補助事業」を開始</p> <p>【拡】 剪定枝の資源化推進として、剪定枝のチップ化、市民配布、市有施設敷設を実施 など</p>

#### 【まち】まちの空間の視点

重点戦略 3	自然と調和したコンパクトな地域づくり	<p>【新】 外来種に関する周知啓発として啓発パネル展示を各地区市民センター等で実施</p> <p>【拡】 特定規模電気事業者（PPS）等を活用した調達改善やエネルギー融通の推進として、108施設の市有施設で電気の調達手法の見直しを実施 など</p>
重点戦略 4	グリーンな交通システムの構築	<p>【新】 蓄電機能を生かした電気自動車等の普及促進としてイベント等で電気自動車の展示・電気供給の実演を実施。</p> <p>【拡】 LRTの整備として、市民説明や軌道詳細設計の実施、都市計画の決定、「軌道運送高度化実施計画」の認定を受けるなど、各種取り組みを実施 など</p>

#### 【しくみ】暮らしや空間を支える仕組みの視点

重点戦略 5	環境と経済の連携による地域の環境資源を活かした産業や取組の創出	<p>【新】 水素等の先端環境技術の活用に向けた調査研究として「とちぎFCV普及促進研究会」に参画</p> <p>【拡】 大谷地域に賦存する冷熱エネルギーを生かした活性化策として冷熱エネルギーを活用した実証実験を実施 など</p>
重点戦略 6	社会全体を先導する市の率先行動	<p>【新】 気候変動への「適応」に対する理解促進に向けた情報発信として新たな啓発用パネルを作成しイベント等で周知啓発を実施</p> <p>【拡】 市の事務事業における「もったいない運動」の推進として「もったいない残しま10！」などの取組を開始 など</p>

- 平成28年3月に第3次環境基本計画を策定し、平成28年度は計画期間の初年度に位置づけられ、着実な事業の進行が求められる中、すべての新規・拡充事業において、具体的な事業の実施又は検討に着手しており、順調に取り組みが進んでいる。（【参考】新規・拡充事業の取り組み状況一覧）

## 2 成果指標の状況について

成果指標については、概ね5年ごとに評価を行うものであるが、最新値を示し計画全体の進捗状況の確認を行ったところ、「市民一人当たりの二酸化炭素排出量」は基準値から0.24t-CO<sub>2</sub>増加、「市民一人当たりの家庭系ごみ排出量」は基準値と同じ値、「自然環境の豊かさに関する愛着度」は基準値から0.4ポイント減と、各指標に対する最新値はいずれも基準から後退又は横ばいの状況であり、目標に向けた更なる取り組みが必要である。

成果指標	基準	(参考) 前年度値	最新値	目標
市民1人当たりの二酸化炭素排出量	3.2t-CO <sub>2</sub> /年 (H25)	3.44t-CO <sub>2</sub> /年 (H26)	3.44t-CO <sub>2</sub> /年 (H27)	2.8t-CO <sub>2</sub> /年 (H32)
市民1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量(資源物以外)	552グラム(H26)	556グラム(H27)	552グラム(H28)	530グラム(H32)
自然環境の豊かさに関する愛着度	31.6%(H26)	34.2%(H27)	31.2%(H28)	35.0%(H32)

## 3 総括

- 重点戦略については、すべての新規・拡充事業において、具体的な事業の実施又は検討に着手するなど、順調に取り組みが進んでいるものの、成果指標の数値は後退又は横ばいという相反する状況である。
- 要因としては、重点戦略に掲げられた取り組みの効果が指標に反映されるまでに時間差があり、今後、前述の取組による削減効果が具体的に表れてくるものと考えられる。

引き続き市民、事業者（行政含む）への意識啓発を強化しながら、本計画の取組を推進するとともに、地球温暖化対策実行計画や一般廃棄物処理基本計画などの関連する個別計画と連携しながら具体的な取り組みを着実に進めていく必要がある。

### 【参考】新規・拡充事業の取り組み状況一覧

<p><b>ひと</b></p> <p>市民・事業者の主体的な実践行動の拡大</p>	<p><b>【新】家庭における創エネ・蓄エネ導入支援制度の実施</b></p> <p>→ 平成28年度から新たな補助制度「家庭向け低炭素化普及促進補助金」の実施</p> <p>(拡) もったいない運動の趣旨を取り入れた中高生向け出前講座の実施</p> <p>→ 中高生向けに内容の充実を行い、広報紙への掲載や小中学生へのチラシを配布</p> <p>(拡) 環境学習センター等における環境学習機会の提供</p> <p>→ 生物多様性に係る講座内容の充実、新たな講座の実施。宇都宮市の自然に関する展示物の強化</p> <p>(拡) もったいない生ごみ減量化の推進</p> <p>→ 各種イベントでの周知啓発や分別ゲームを活用した普及啓発を実施</p> <p>(拡) 「こどもエコクラブ」の育成</p> <p>→ 環境学習センターを地域事務局としてこどもエコクラブの育成を実施</p> <p>(拡) 自然に触れ合う機会の確保、提供</p> <p>→ もったいないフェア、エコまつりにおけるネイチャーゲームの実施</p> <p>(拡) 剪定枝の資源化推進</p> <p>→ 剪定枝のチップ化、市民配布、市有施設敷設を実施。資源量拡大に向けた事業手法について検討</p>
--	--

<p><b>まち</b> 環境負荷の少ない都市空間の形成</p>	<p><b>【新】</b> 外来種に関する周知啓発 → 外来種対策の啓発パネル展示を各地区市民センターや宮カフェなど実施。</p> <p><b>【新】</b> 蓄電機能を生かした電気自動車等の普及促進 → もったいないフェアや地域イベントで電気自動車の展示を実施。エコまつりで電気自動車を活用した電気供給の実演を実施。</p> <p>(拡) 駅東口地区整備事業におけるエネルギーの意合理的な活用手法の検討 → 駅東地区整備の事業化に向け、民間事業者と事業計画等について意見交換を実施</p> <p>(拡) 特定規模電気事業者（PPS）等を活用した調達改善やエネルギー融通の推進 → 108施設の市有施設で電気の調達手法の見直しを実施</p> <p>(拡) 空き家・空き地の安全対策の推進 → 市民等に対しホームページによる周知やリーフレットの配布等、広報活動を実施</p> <p>(拡) 中心市街地の緑化推進 → ストリート緑化事業として「まちなかハンギングバスケット大作戦」の実施。シンボルロード沿いにまちなか花壇を2か所新設</p> <p>(拡) 自然に触れ合う機会の確保、提供（再掲）</p> <p>(拡) 今後の社会環境の変化に対応した効率的・効果的なごみの収集運搬の在り方の検討 → 高齢者や障がい者に対する個別収集である「ふれあい収集」を実施</p> <p>(拡) 生き物の生息・生育環境の保全 → 自然環境保全対策に関するアドバイザー会議、自然環境保全地域等の監視活動、自然環境保全団体等への活動支援等を実施</p> <p>(拡) 郊外の山地や丘陵地などの森林の管理・保全 → 私有林の下刈・間伐・植栽などの森林整備を実施。宇都宮市森林組合が実施する民有林整備に要する経費の一部補助を実施</p> <p>(拡) LRTの整備 → 市民説明や軌道詳細設計の実施、都市計画の決定、「軌道運送高度化実施計画」の認定を受けるなど、各種取り組みを実施</p> <p>(拡) ICカード導入による利便性向上策の実施 → 高齢者外出支援事業等の地域独自サービスやLRTの運賃收受方法を想定したシステムの検討。SuicaやPASMO等の全国相互利用カードが利用できるようにするためのシステム接続等について交通事業者と協議を実施</p>
<p><b>しくみ</b> 地域特性を活かした取組の拡大</p>	<p><b>【新】</b> 水素等の先端環境技術の活用に向けた調査研究 → 「とちぎFCV普及促進研究会」に参画。環境省と連携しLRT沿線の低炭素化の在り方を検討する「宇都宮市モデル地域創成プラン」にて水素の利活用を検討</p> <p><b>【新】</b> 市役所におけるエコオフィス活動の推進 → 環境マネジメント研修会にて、各課におけるエコオフィス活動の周知と実践を促進するための啓発を実施</p> <p><b>【新】</b> 気候変動への「適応」に対する理解促進に向けた情報発信 → 「適応」に関するパネルを新たに作成し、もったいないフェア等でパネル展示による周知啓発を実施</p> <p>(拡) 大谷地域に賦存する冷熱エネルギーを生かした活性化策の実施 → 冷熱エネルギーを活用した保冷利用等の具体化に向けた実証実験の実施。</p> <p>(拡) 省エネ機器・設備・エネルギー制御システム等の導入 → 市有施設における省エネ等に関するポテンシャル調査を実施</p> <p>(拡) 特定規模電気事業者（PPS）等を活用した調達改善やエネルギー融通の推進（再掲）</p> <p>(拡) 市の事務事業における「もったいない運動」の推進 → 「もったいない残しま10！」などの新たなとりくみを開始</p>